

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 https://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シツキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
<https://www.shizuki.co.jp>



株主通信

第96期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

メッセージ

個々の挑戦がつながり、
大きな力へ。



証券コード 6994 / スタンダード市場
株式会社 指月電機製作所



メッセージ

代表執行役社長

足達 信章

2019-2028年度

長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

個々の挑戦がつながり、大きな力へ。

上期の最高売上高を更新。
能力と収益力の向上をはかり、さらに前へ。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類へと引き下げられたこともあり、経済は再び活発な動きを取り戻しつつあります。しかしその一方で、世界情勢の不安定化や素材・エネルギー価格の上昇が依然として続き、私たち指月電機グループのものづくりにも、少なからぬ影響を与えています。

このような情勢のもと、xEV用コンデンサはお客様の在

中期経営計画

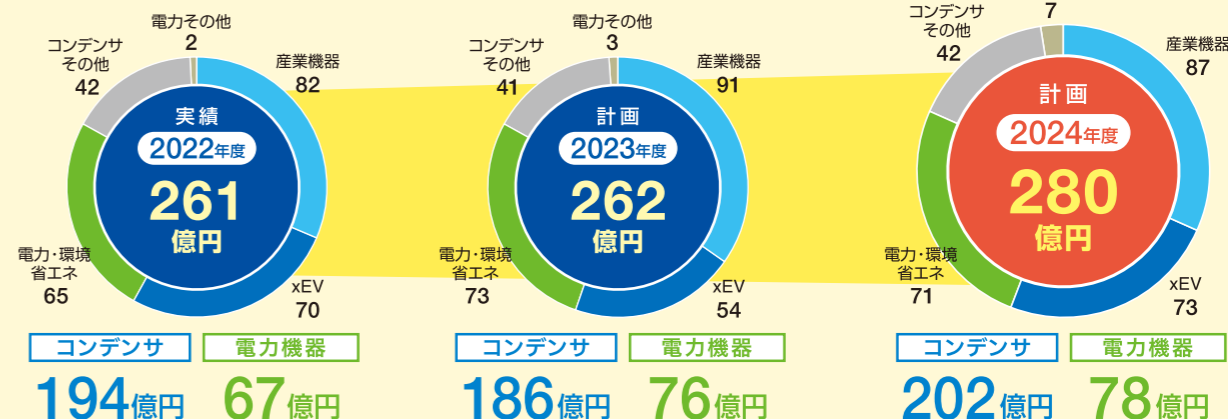
第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため、事業拡大を強力に推進します。
また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑みます。

売上高(連結) [億円]



206.1%の増加)となり、本来の収益性を取り戻そうとしています。さらに、シツキの強みである電力マネジメントの技術や知見を活かし、市場に新しい提案を投げかけるようなチャレンジも動き出しています。(本誌5ページのトピックスにて開発中の新商品「EXCEV」の情報をご紹介します) 仕入れ価格やエネルギーコストの上昇は今も続いており、依然として厳しく、先行きの不透明な状況ではありますが、「挑戦する社風への変革」を掲げる長期経営ビジョンに向けた一人ひとりの挑戦が、事業や拠点を越えた技術共有や“知の融合”として各所で実を結びつつあり、お互いに成果を分かち合えるような場面も生まれています。これからもグループ丸となって市場と向き合い、現場と向き合い、たゆまぬ改善と挑戦を重ねていく所存です。

庫調整などにより受注が低迷したものの、コロナ禍を抜けて電鉄車両向けのニーズが復調したことや、太陽光発電のパワーコンディショナや力率改善装置などの需要の高まりが減収分を吸収するかたちとなり、当社グループの第2四半期連結売上高は前年同期比2.3%増加の12,746百万円、上期としての過去最高値を更新する運びとなりました。

そして、営業利益につきましては、お客さまのご理解や現場の粘り強い対話に支えられ、素材・エネルギー価格の高騰に応じた価格転嫁が進んだことで414百万円(前年同期比

メッセージ

現場と向き合い、市場と向き合う。 そこから、新しい挑戦が始まる。

自ら課題を見つけ、解決する力を養う。 生産現場から生まれた、自発的な教育活動。

私たちシヅキは、「環境の変化に適応できるよう進化し、人も組織も生まれ変わっていく」という考え方のもと、「JIS(S(シムス))」という独自の統合マネジメントシステムを構築し、社内の生産体制を常に検証するよう努めてきました。

今なお原材料費やエネルギーの高騰と円安が続く中、厳しい環境の変化こそ次へと進むための好機と捉え、一人ひとりがJIS(S(シムス))の実践者となって、より良い生産手法を探し求めていくことが重要だと考えています。そして、中期経営計画第III期を見据え、さらなる生産技術の向上のために人員の増強も進めています。

生産現場からも、自発的な取り組みが生まれつつあります。たとえば秋田指月では、現場でものづくりをリードする班長クラスの人材の再教育に取り組み、「自ら課題を見つけ、解決へ向けてチームを率いる力」を養っています。生産ライ

ンを完全に離れ、数名の指導者たちのもとで時間をかけて行う教育活動は、一時的には非効率的なものとして目に映るかもしれませんが、教育の成果は着実に表れてきており、他工場へ赴いて改善の指導・支援にあたるようなリーダーも育ってきました。

電力マネジメントの新しい考え方を、 市場に問いかける。

「挑戦する社風への変革」を第一に掲げた長期経営ビジョンの策定から、およそ5年。まだ道半ばではありますが、工場や事業という垣根を越えた連携が進み、一人ひとりの挑戦が、組織の大きな力として実を結びつつあるのを感じます。拠点が遠く離れた工場同士でも、お互いに良いところ、見習うべきところを積極的に活かし合える関係が育まれ、労働力としての協力ではなく「生産力」そのものを協力しながら高め合っていける風土が根づきつつあります。

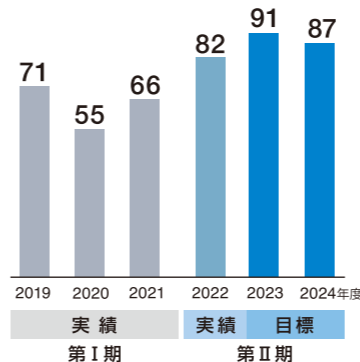
2023年9月には、幕張メッセで開催された「グリーンファクトリーEXPO」に出展し、開発中の新しい商品を発表しました。電気自動車のバッテリーに蓄えられた大容量の電気を工場や施設の電力運用に活かすという発想から開発に取り組んでいる「EXCEV(エクシーブ)」は、市場に電力マネジメントの“新しい考え方”を投げかけるような、挑戦的な試みとなっています。従業員一人ひとりの意識が市場に向き、

〈重点事業の売上高実績と目標(連結)〉

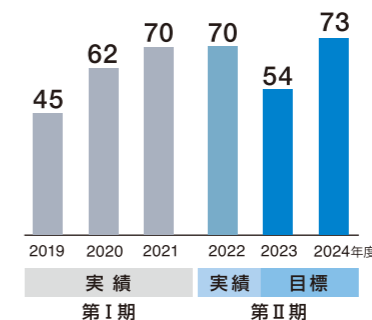
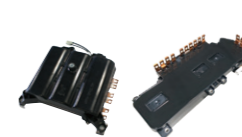
[億円]

コンデンサ・モジュール

産業機器

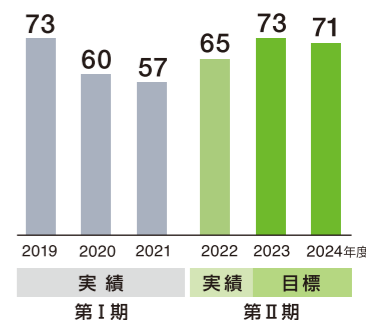


xEV



電力機器システム

電力・環境省エネ



お客さまに向くことで、こうした新しいチャレンジが世に出ていくことをうれしく思っています。実際に展示会場でも、多くのお客さまとの対話が生まれました。

いい失敗は、成功よりも価値がある。

新しい商品の開発だけでなく、たとえ長年ご愛顧をいただいている商品であっても「本当にこのかたちが最善なのだろうか?」「お客さまに喜んでいただいているのだろうか?」という視点を持つことから、新たなチャレンジがはじまります。

お客さまの声を聞き、対話を重ねながら具体的な改善策を見出し、かたちにしていく。自分からこのようなアクション

を起こせる人が、グループの中に少しずつ増えてきているように感じます。もちろん上手くいくことばかりではなく、失敗することのほうがむしろ多いかもしれません。

しかし、失敗の数が増えなければ、成功の数も増えないと考えています。大切なのは、失敗から何かを学び、PDCAを回していくことであり、その事案で結果を出せなかったとしても、経験は力として残り、次に活かすことができます。はじめから物事が上手くいき、却って何も学ばずに終わるよりも、いい失敗は、成功よりも価値がある。こうした考え方のもと、個々の挑戦を真の意味での成功へと結びつけられるような企業を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましても、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

統合マネジメントシステム

JIS

[シムス]

SHIZUKI Integrated Management System

物づくり
仕組みづくり事づくり
人づくり社会の変化に合わせ進化し、
仕組みづくり・人づくりを行う

カーボンニュートラル・脱炭素社会への挑戦

シヅキ発のV2X対応EV用充放電器『EXCEV(エクシーブ)』 **開発中**

カーボンニュートラルの実現には、電気をつくる側だけでなく、使う側のアクションも欠かせません。シヅキは、電気をより良く使う「電力マネジメント」の技術を活かし、電気自動車のバッテリーに蓄えられた大容量の電気を、工場稼働時のピーク電力カットや災害時の非常用電源として活用する「EXCEV(エクシーブ)」の開発に取り組んでいます。電気を動かし、未来を動かす。新しいチャレンジが動き出しています。

※V2Xとは自動車とさまざまなもの(自動車、歩行者、ネットワークなど)をつなげる無線通信技術のことです。

電気自動車の電気から、新しい価値を生み出す。
EXCEVのソリューション

ピーク電力カット

電気自動車を、
蓄電システムに。

災害への備え

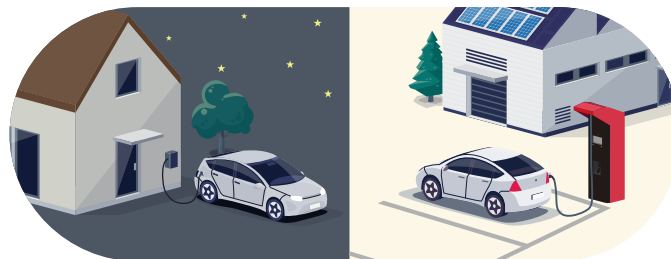
電気自動車を、
非常用電源に。

新しい電力マネジメント

電気自動車を、
もうひとつの電源に。

事業所の運営者と従業員、双方にメリットを。
EXCEVの活用例

たとえば、従業員用の駐車場にEXCEVを設置。家で充電してきた自家用車の電気を事業所に供給してもらい電力ピークカットなどに活用する代わりに、供給電力に応じた手当を支給したり、優先駐車スペースを用意したり、従業員と事業所、双方にメリットが生まれます。



電気をもっと、動かしていく。
EXCEV



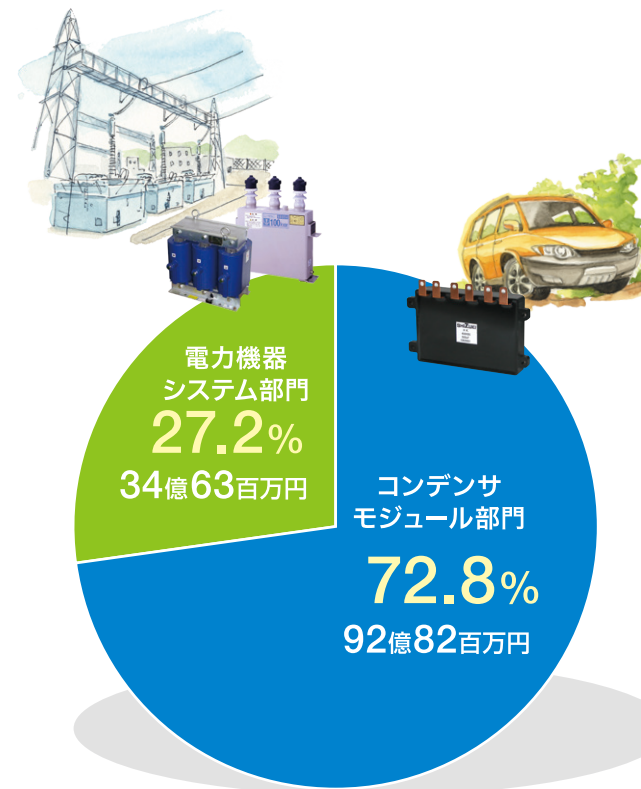
グリーンファクトリーEXPO EXCEVの体験コーナーが盛況

2023年9月、幕張メッセで開催された「グリーンファクトリーEXPO」。EXCEVの実機に触れて、多くのお客さまに電気の新しい活用法を体験していただくとともに、サステナブルな工場の実現に向けた対話が生まれる場となりました。

EXCEVの
詳しい情報は
こちらから



2023年度中間期の業績概要



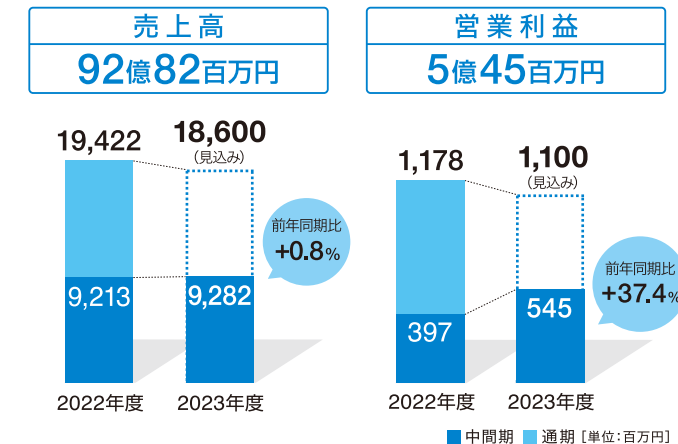
連結売上高

127億46百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△908百万円があります。
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

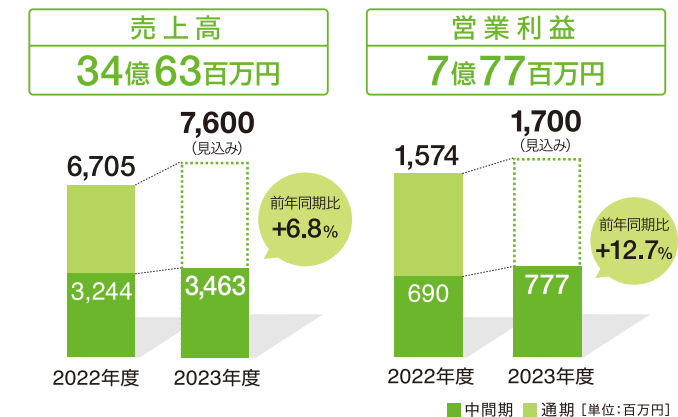
コンデンサ・モジュール部門

xEV用コンデンサは受注が低調に推移し、減収となりました。一方で、産業機器用コンデンサはパワエレ市場を中心に伸長した結果、売上高は9,282百万円(前年同期比0.8%増加)となりました。



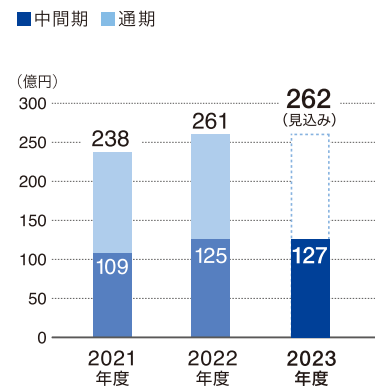
電力機器システム部門

力率改善装置の売上が好調に推移した結果、売上高は3,463百万円(前年同期比6.8%増加)となりました。

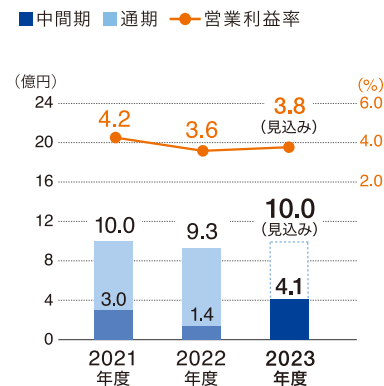


財務ハイライト

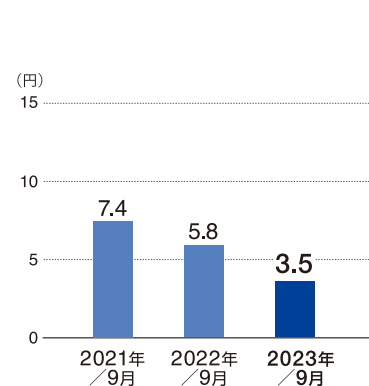
売上高



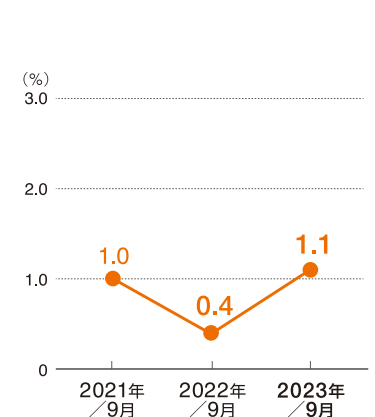
営業利益・営業利益率



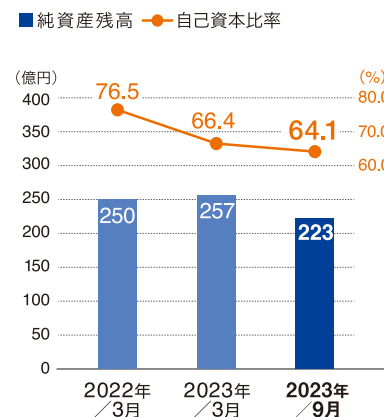
1株当たり利益 (EPS)



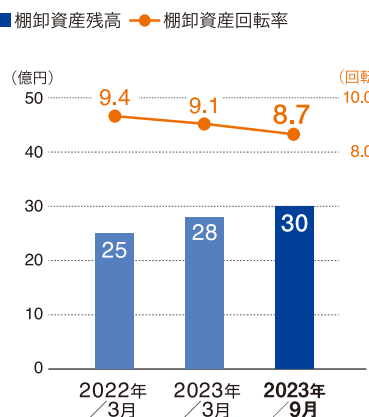
総資産営業利益率 (ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



売上高は、客先の在庫調整の影響によるx E V用の減収があるも、産業機器用コンデンサや電力機器の伸長により吸収し、結果、2年連続で過去最高の127億46百万円と前年同期比2%の増収となりました。また、営業利益は、素材価格の継続的な高騰と生産体制構築などによる人件費が増加した一方で、価格転嫁の進展や規模変動の影響等により、4億14百万円と前年同期比で増益となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第95期中間期 2022年9月30日現在	第96期中間期 2023年9月30日現在
資産の部		
流動資産	16,714	17,647
現金及び預金	4,727	5,021
売上債権	8,954	9,346
棚卸資産	2,849	3,021
その他資産	183	256
有形固定資産	13,047	12,897
無形固定資産	493	413
投資その他の資産	2,394	3,244
資産合計	32,650	34,203
負債の部		
流動負債	4,228	3,512
固定負債	3,340	8,315
負債合計	7,569	11,827
純資産の部		
株主資本	22,146	18,919
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	4,276	4,276
利益剰余金	12,890	13,263
自己株式	△21	△3,620
その他の包括利益累計額	2,543	2,999
非支配株主持分	390	456
純資産合計	25,080	22,375
負債純資産合計	32,650	34,203

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第95期中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第96期中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	12,457	12,746
売上原価	10,106	9,906
売上総利益	2,351	2,840
販売費及び一般管理費	2,215	2,425
営業利益	135	414
営業外収益	346	299
営業外費用	127	250
経常利益	353	464
特別損失	—	164
税金等調整前四半期純利益	353	299
法人税、住民税及び事業税	124	126
法人税等調整額	38	47
四半期純利益	191	125
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	191	100

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第95期中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第96期中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,211	343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382	△964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△3,769
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	66
現金及び現金同等物の増減額	675	△4,324
現金及び現金同等物の期首残高	4,051	9,346
現金及び現金同等物の期末残高	4,727	5,021

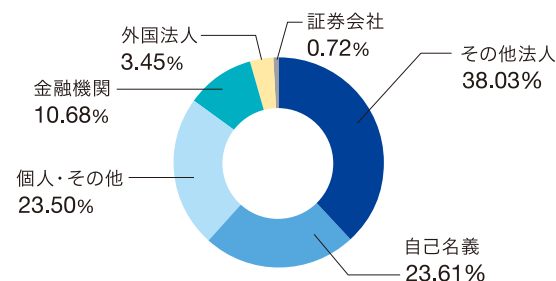
株式の状況

2023年 9月30日現在

株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	4,382名

所有者別株式数分布状況

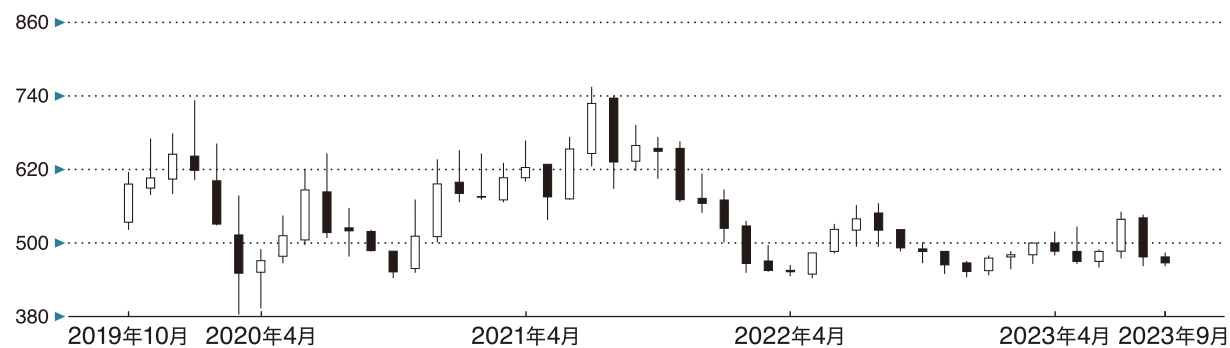


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	27.6
株式会社村田製作所	4,471	17.7
株式会社りそな銀行	1,299	5.1
指月協友持株会	1,002	4.0
株式会社みなと銀行	925	3.7
指月電機製作所自社株投資会	451	1.8
MSIP CLIENT SECURITIES	419	1.7
東京海上日動火災保険株式会社	383	1.5
株式会社三菱UFJ銀行	301	1.2
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	286	1.1

(注)持株比率は、自己株式(7,805,199株)を控除して計算しております。

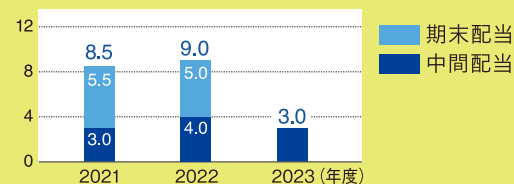
株価の推移(円)



中間配当金
1株当たり
3円

- 中間配当金 1株当たり3円
- 支払対象者 2023年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日 2023年12月15日

1株当たりの配当実績(単位:円)



会社概要

2023年 9月30日現在

会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	https://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,476名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> ■コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■電力機器・装置の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ●東京支社 ●東京支店／関西支店／中部支店 ●仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月 FCソリューションズ	100,000千円	35.0

役員

取締役

取締役会会長	足達 信章*
取締役	大槻 正教*
取締役	小山 義雄
取締役	谷 和義*
取締役	松尾 誠人*
取締役	奥西 啓祐*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	足達 信章
専務執行役	大槻 正教
執行役	小田 敦
執行役	牧添 浩明
執行役	稲垣 裕一

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0